

☆ 高校2年生 OG ガイダンスを行いました ☆

10月17日に、本校の卒業生を招いて、進学に関するガイダンスを行いました。進学を希望している学部を理解をより深めるために、それぞれの学部の魅力を存分に語っていただきました。聴講後の生徒の皆さんの感想を一部ご紹介します。



経済学部の S. A. 先輩のお話を聞いて

授業の予習・復習が中心だったと聞いて、もっと今の授業を大事にして真剣に受けようと思いました。今はまだ自分の勉強の仕方が定着していないので、来年のために受験を意識した勉強法を考えようと思いました。資料もたくさん見せていただき、経済学部で学ぶことを詳しく知ることができました。ありがとうございました。

情報理工学部の M. O. 先輩のお話を聞いて

大学1年生の時点で全員がプログラミングを学ぶというのはとても魅力的に感じました。また、研究室についてまだ何も考えていなかったのを、それを視野に入れて大学を選ぶ参考にしてみたいと思います。お話を聞いていると研究の楽しさが伝わってきて、大学に入るのが楽しみになってきました。理系の観点から行う体育が必修であるというのも理系の学校ならではの面白いなと思いました。今回のお話を参考に、慎重に志望大学を選んでいきます。

研究室の研究結果を特許に出している、ということで、そのような世界的な研究ができるのも魅力の一つだと思いました。

理工学部の S. K. 先輩のお話を聞いて

私は行きたい学部はほぼ決まっていますが、まだやりたいことが決まっていません。今日のお話で、大学では幅広く勉強して、大学に入った後にやりたいことが変わって違うことを研究されている、と聞いて安心しました。大学に入ってから興味のあることを見つけようと思います。また、今は学校で受ける模試しか受けていないのでこれからはいろいろな模試にチャレンジしてみようと思います。大学のシラバスは見たことがなかったので見られて良かったです。

法学部の M. K. 先輩のお話を聞いて

私は刑事ドラマや裁判系のドラマを見るのが好きなので、法学部のイメージはそこに出てくる弁護士や裁判官のイメージしかありませんでした。それゆえ、六法全書はもちろん暗記するものだと思っていたので、法学部のイメージが大きく変わりました。「法の暗記なんて自分には無理だから…」と思って法学部の紹介ページはいつも飛ばしていたのですが、もう一度ちゃんと読んでみました。また学部の選択理由の「趣味では勉強しないものを選んで、知らない世界を覗いてみたい」というのが私にとっては大きな発見で、自分の将来の選択に新しい視点を加えることができました。ありがとうございました。



工学部の Y. K. 先輩のお話を聞いて

今回、生命工学についてのお話を聞いて初めて知ることがたくさんあり、とても面白かったです。昔、医療系に興味があって、考えていたのですが、生物より物理の方が好きになり、今は物理を選択しています。そのため、医療系は無理かな、と思っていたのですが、物理の知識を使って、医療にかかわれる生命工学に魅力を感じました！まだ、進路が全く決まっていない状態なので、生命工学も視野に入れていきたいと思います。ありがとうございました！！

理学部の T. S. 先輩のお話を聞いて

地球惑星物理学科は宇宙のことを研究しているイメージがあったので、気象と聞いて驚きました。今の実力を悲観しないという言葉がとても印象に残りました。

研究は孤独なものなのかなと思っていましたが、その中では人間関係が大事だったり、私に今あるとは思えない総合力が必要だったり、気づけることが多くありました。今、自分でできることをしっかりやって得意科目を増やしていこうと思いました。

「研究は得意だからではなく、好きでやるもの」というお言葉が印象に残っています。

数式で地球の雲の動きを再現するというのが一番驚きました。私の学年は、数式は曲線や直線を表すことしか知らないのに、複雑な雲の動きを観測映像と変わらないくらいに再現できることを知り、大学レベルにもなるととてもつもないことをやるんだな、面白そうだな、と思いました。

商学部の M. S. 先輩のお話を聞いて

本日はお忙しい中お話をありがとうございました。特にマーケティングでUNIQLOという身近な企業についての研究にとっても興味を持ちました。また、就活については今まであまり考えていなかったのですが、普段身近な企業について学んでいるとそれを就活においても生かせるのだなと思いました。もうすぐ受験生になるので、勉強頑張ります。

国際社会学部の Y. Y. 先輩のお話を聞いて

今回のお話を聞いて、Y先輩が最後におっしゃった「日本だけ平和であればいい時代は終わった」という言葉が印象に残りました。アラビア語は私たちにとって距離のある言語のように感じていましたが、扱われているニュースなどから決して遠い言語ではないなと感じました。先輩が今日紹介して下さった「日本語で読む中東メディア」や新書を読んでみて、ニュースへの理解を持って自分の意見を持ちたいと思いました。今回はありがとうございました。

医学部の S. S. 先輩のお話を聞いて

人体解剖、病院での具体的な体験談を聞くことが出来てよかったです。私も医学部を目指しているので、ノート作りや、受験対策などためになるお話ばかりでした。Sさんが高2の秋から勉強を始めたということを知って、危機感を感じました。今までちょっと甘く考えていたので、そろそろ頑張らなければと思いました。

Sさんの解剖ノートが素晴らしくて、医学部を目指すモチベーションにつながりました。受験勉強が終わって大学に入ってから勉強が大変だと伺ったので今から学ぶことを好きになろう！と思いました。

医学部で学んでいることや、普段の生活などについて詳しく教えていただきとても楽しかったです！今日先輩が人体解剖や授業についてとても楽しい！と話してくださっている姿を見て、やっぱりいいなと思いました！大学生活はきっと楽しいものになると信じて、今は勉強を頑張ろう！とモチベーションが上がりました。

文学部の K. Y. 先輩のお話を聞いて

2年間くらい同じことをつきつめて研究するのは確かに大学でしかできないことなので、改めて実学ではなく文学部に入りたいと思うことができました。またその研究内容について、私はわりと浅く広くで特定のことをすごく好きになるよりは全体を見通す方が楽しいけれど大丈夫かな、と思っていたのですが、個別質問のときに比較論を使うという手がある、と教えていただき、史学科を選択肢から除外せずにすみしました。中国文学は高校の漢文の授業が面白かったから入ったのに対し、歴史への興味・知識欲は小学校低学年からあったということでしたので、私も、自分の過去を振り返って、何に興味を持っていたのかがんばって思い出してみます。貴重なお話をどうもありがとうございました。

